

12-10 ガンカモ科鳥類の調査地別観察数ベスト5の推移

順位	調査年月 (調査か所数)				
	10. 1 (287か所)	11. 1 (316か所)	12. 1 (319か所)	13. 1 (326か所)	14. 1 (346か所)
1	淀川全域 9,887	淀川全域 9,078	淀川全域 8,570	淀川全域 12,532	神崎川全域 10,448
2	大阪市北港 4,784	大阪城公園 3,285	大阪市北港 6,225	神崎川全域 5,277	淀川全域 9,713
3	大阪城公園 2,764	神崎川全域 2,633	大阪城公園 3,032	平林貯木場 2,298	大阪市北港 4,305
4	鶴見緑地 2,585	大和川全域 2,050	鶴見緑地 2,721	大阪城公園 1,885	大和川全域 3,399
5	大和川全域 2,413	泉大津埋立地 1,897	大和川全域 2,538	大和川全域 1,374	平林貯木場 1,902

(注1) 表中、上段は調査地名、下段は観察羽数

(注2) ガンカモ科鳥類の生息調査は、毎年冬期に日本に渡来するガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況を把握するために、環境庁の呼びかけにより昭和44年度から全都道府県が一斉に実施している。

12-11 カモ類観察数種別順位

(平成13年度)

順位	種名	観察数(羽)	%
1	ホシハジロ	26,729	51.9
2	ヒドリガモ	8,434	16.4
3	コガモ	2,971	5.8
4	キンクロハジロ	2,646	5.1
5	マガモ	2,500	4.9
6	カルガモ	2,061	4.0
7	ハシビロガモ	1,990	3.9
8	オナガガモ	1,695	3.3
9	スズガモ	759	1.5
10	オシドリ	686	1.3
11	オカヨシガモ	619	1.2

12-12 ニホンジカの生息頭数の推移

(単位:頭)

調査年度	昭54	57	60	63	平3	6	9	12
推定生息数(頭)	60	200	365	341	480*	660***	800~900	1000~1200

(注) ※平成3年度の調査は能勢地域のみ。「480*」は、昭和54年から昭和63年までの生息数の増加率、有害駆除・狩猟による捕獲数を参考に試算したもの。

※平成6年は分布域のみ調査し、生息数推定のための調査を行っていない。「660***」は、フィールドサインの出現状況をもとに試算したもの。